

第3期ロジスティクス環境会議
第5回企画運営委員会

2010年2月22日(月)15:00~17:00
(社)日本ロジスティクスシステム協会 大会議室

次 第

1. 開 会
2. 報 告
 - 1) 参加メンバー企業について
 - 2) 環境教育冊子「グリーン物流ってなんだろう？」の発行について
3. 議 事
 - 1) 研究会、委員会の活動内容について
 - (1) グリーン物流研究会
 - (2) 包装の適正化推進委員会
 - (3) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会
 - (4) グリーンロジスティクスチェックリスト調査
 - 2) 情報提供活動について
 - (1) シンポジウム、講演会等のイベントについて
 - (2) CGLニュース、ジャーナルについて
 - 3) 第3期活動の総括について
 - 4) 第3回本会議について
 - 5) 2010年度以降の活動について
 - 6) その他について
4. 閉 会

【配布資料】

- 資料1-1 : 第3期ロジスティクス環境会議 2009年度参加メンバー企業について
資料1-2 : 第3期ロジスティクス環境会議 組織体制
資料1-3 : 第3期ロジスティクス環境会議 参加企業一覧
資料2 : 環境教育冊子「グリーン物流ってなんだろう？」の発行等について
資料3-1 : 第3期ロジスティクス環境会議 研究会、委員会の活動方針、活動内容、及び今後の課題等について (案)
資料3-2 : 第3期ロジスティクス環境会議 調査関係の活動について (案)
資料4 : 情報提供に関する活動内容、及び活動計画 (案)
別紙1 : 講演会等のイベントの結果報告
別紙2 : CGLニュースの配信結果
資料5 : 第3期活動の総括について (案)
資料6-1 : 第3回本会議 次第 (案)
資料6-2 : 第3回本会議 タイムスケジュール (案)
資料7 : 2010年度以降の活動について (案)
資料8 : 第3期ロジスティクス環境会議 2009年度スケジュール (案)
参考資料1 : ロジスティクス環境会議 活動経過
参考資料2-1 : グリーン物流研究会 2009年度の開催実績
参考資料2-2 : グリーン物流研究会 2009年度の評価
参考資料3 : 包装の適正化推進委員会 補足資料
参考資料4 : グリーン物流推進のための取引条件検討委員会 補足資料
参考資料5 : グリーンロジスティクスチェックリスト調査 集計結果の概要
(第4回チェックリストWG 配布資料抜粋版)
参考資料6 : 第4回企画運営委員会 議事録

以 上

第3期ロジスティクス環境会議
2009年度参加メンバー企業について

1. メンバー企業数の概況

図表1 メンバー企業数の推移

	社数
2008年度末メンバー企業数	97
2009年度非継続メンバー企業数	13
2009年度新規参加メンバー企業数	3
参加企業メンバー数(2010年2月22日現在)	87

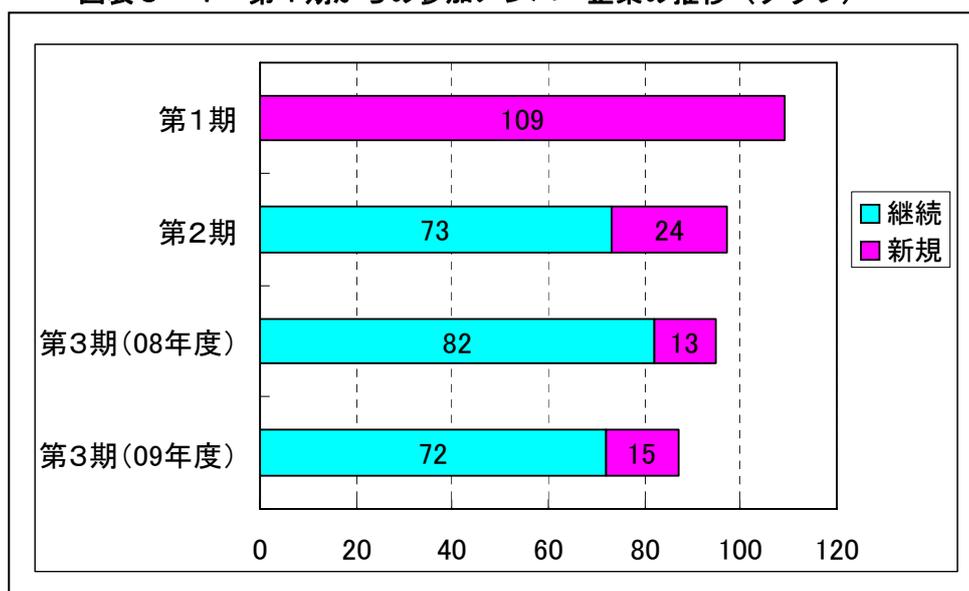
2. 2009年度新規参加メンバー企業について

図表2 2009年度新規参加メンバー企業

No	会社名	所在地	所属組織			過去参加状況	
			グリーン研究会	包装委員会	取引条件委員会	第1期	第2期
1	日本パレットレンタル	東京	—	○	○	—	—
2	日立製作所	東京	○	—	—	○	○
3	サンリツ	神奈川	○	○	○	—	—

3. 参考データ

図表3-1 第1期からの参加メンバー企業の推移(グラフ)



図表 3-2 第 1 期からの参加メンバー企業メンバーの推移

	合計	内訳		前期からの継続率
		継続	新規	
第 1 期	109		109	
第 2 期	97	73	24	67.0%
第 3 期 (08 年度)	97	83	14	85.5%
第 3 期 (09 年度)	87	72	15	74.2% (第 2 期からの継続率)

* 第 3 期の新規のうち、2 社は第 1 期参加、第 2 期非継続企業

図表 3-3 3 期継続参加

	社数	継続率
3 期継続参加	5 5	50.4%

以 上

議長: 三村 明夫 (新日本製鐵(株) 代表取締役会長)
副議長: 岡部 正彦 (日本通運(株) 取締役会長)
副議長: 鈴木 敏文 (株イトーヨーカ堂 代表取締役会長 CEO)

**ロジスティクス
環境会議(本会議)**

メンバー: 87社

**企画運営委員会
(16名)**

委員長: 杉山 武彦
(一橋大学 学長)
副委員長: 増井 忠幸
(東京都市大学 環境情報学部 学部長)
副委員長: 高橋 信直
(新日本製鐵(株) 営業総括部 部長)
副委員長: 平野 由美子
(日本通運(株) 環境・社会貢献部 部長)

**グリーン物流研究会
(82名)**

幹事: 下村 博史 (株日本総合研究所 総合研究部門 上席主任研究員)
副幹事: 鈴木 邦成 (文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 准教授)
副幹事: 山田 英夫 (国分(株) 経営企画部 環境担当 課長)

**包装の適正化推進委員会
(25名)**

委員長: 増井 忠幸 (東京都市大学 環境情報学部 学部長)
副委員長: 麦田 耕治 (日本通運(株) 環境・社会貢献部 専任部長)

**グリーン物流推進のための
取引条件検討委員会
(48名)**

委員長: 山本 明弘 (株日通総合研究所 物流技術環境部長 兼 環境グループ担当部長)
副委員長: 大山 茂夫 (第一貨物(株) CS・環境対策 担当部長)
副委員長: 梅津 芳文 (バンダイロジパル(株) 創務(総務)部 経営企画課 マネージャー)
副委員長: 小島 賢次 (リコーロジスティクス(株) 営業本部 審議役)

**グリーンロジスティクス
チェックリスト調査WG**

幹事: 矢野 裕児 (流通経済大学 流通情報学部 教授)
幹事: 菅田 勝 (株ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役)



環境教育冊子「グリーン物流ってなんだろう？」の発行等について（報告）

1. はじめに

第4回企画運営委員会でご審議いただいた環境教育冊子を2月9日（火）に発行するとともに、下記のように配布等を行った。

2. 配布概要

1) スケジュールについて

配布等のスケジュールは以下のとおりである。

図表1 配布等のスケジュール

	環境会議メンバー	J I L S	その他
実施済	<u>2月8日（月）夜</u> ・CGLニュースによる案内 ・ホームページに掲載 <u>2月9日（火）</u> ・メンバーへ郵送	<u>2月12日（金）</u> ・グリーンロジスティクス管理士資格取得者へメールによる案内	
	<u>2月16日（火）</u> ・取引委員会で配布、報告 <u>2月19日（金）</u> ・包装委員会で配布、報告	<u>2月17日（水）</u> ・第7回グリーン物流基礎コース受講者へ配布	<u>2月16日（火）</u> ・プレスへ郵送 <u>2月18日（木）</u> ・経産省、国交省へ配布 ・その他オブザーバーへの郵送
今後実施予定	<u>3月1日（月）</u> グリーンロジスティクス講演会 <u>3月10日（水）</u> 第3回本会議	<u>2月下旬～</u> J I L S 会員窓口宛に郵送 <u>3月～</u> J I L S 各種委員会	<u>3月</u> ・都道府県等の教育委員会、環境教育部局への郵送 ・消費者団体への郵送

2) 次年度以降の予定

本冊子の主な対象である、小学校5、6年生の児童の手に渡り、見ていただけるような活動の実施

- グリーン物流研究会等で関係がある自治体、あるいは関心を持っていただいた自治体との連携による取り組みの検討
- 環境会議メンバー企業等が実施する出前授業、見学受入れ等を通じた配布

以 上

第3期ロジスティクス環境会議 研究会、委員会の活動方針、活動内容、今後の課題等について(案)

研究会/委員会	活動方針	2008 年度活動内容	2009 年度活動内容/今後さらに検討を要する課題等
<p>グリーン物流研究会 (登録人数：82名)</p>	<p>ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するため、グリーン物流に関する各種施策の実施事例等の情報交換等を通じて、実践的な改善施策を研究する。</p>	<p>1. 研究会（講演会形式） 7回開催</p> <p>2. 施設見学会 1回開催</p> <p>3. その他</p> <p>1) メンバー記入表の作成及び配布（新規） 研究会への参加目的、グリーン物流に関する課題等を各メンバーにご記載いただくとともに、その内容を全メンバーに配布することで、メンバー相互の人的交流の一助としていただいた。</p> <p>2) アンケートの実施 2008年度の活動の評価と反省のために実施した「2008年度活動アンケート」を含めて、計8回実施</p> <p>3) ブログによる情報発信</p> <p><アウトプット> 『2008年度 グリーン物流研究会 活動報告書』</p>	<p>1. 研究会（講演会形式） 7回</p> <p>1) 第9回研究会 テーマ「エコ包装」、「省エネ法（工場・事業場）」（44名） 2) 第10回研究会 テーマ「カーボンフットプリント」（50名） 3) 第11回研究会 テーマ「循環型社会構築に向けて」（66名） *公開制研究会としてメンバー外にも公開して実施 4) 第12回研究会 テーマ「共同回収」、「サプライチェーン省資源化に向けて」（43名） 5) 第13回研究会 テーマ「省エネ法（輸送に係る措置）」（42名） 6) 第15回研究会 テーマ「G物流P推進事業」、「循環型社会構築に向けて」（54名） 7) 第16回研究会 テーマ「東京都買主施策」、「グリーン物流の今後」（43名）</p> <p>2. 施設見学会 1回</p> <p>1) 第14回研究会 積水ハウス株式会社 関東工場 資源循環センター（26名）</p> <p>3. その他</p> <p>1) 講演概要のメール送付（新規） 2) 2009年度活動の評価と反省のための「2009年度活動アンケート」を含め、計8回実施</p> <p><アウトプット> 『2009年度 グリーン物流研究会 活動報告書』 *各会合の講演概要、幹事所感、配布資料を取りまとめ、事例研究の参考としていただく</p> <p>【今後の課題等】</p> <p>・引き続き、幅広いテーマに関する情報提供 ・人的ネットワーク形成に向けた運営上の工夫</p>
<p>包装の適正化推進委員会 (登録人数：25名)</p>	<p>物流の主要な1機能である「包装」の適正化による環境負荷低減に向け、荷主企業と物流企業等の課題を整理した上で、解決策を検討する。</p> <p>さらに必要に応じて企業、行政、団体等の関係者への提言を行う。</p>	<p>1. 活動内容の検討</p> <p>1) 活動内容アンケート、及びアンケート結果を基に活動内容を検討 ⇒「包装に関わる環境パフォーマンスの算定」に関する検討を行う。 その中でも、特に委員の関心の高い「CO₂への換算」に向けた検討を行う。</p> <p>2. 包装に関わる環境パフォーマンスの算定についての検討</p> <p>1) 「包装に関わる環境パフォーマンスの算定に関する調査」の実施 各社における包装に関わる環境パフォーマンス算出状況等について確認 ⇒パフォーマンス算定に必要となる基データもあまり捉えられていない実態</p> <p>2) 「サプライチェーンにおける包装材の流れのイメージ図（案）」の策定 ⇒様々な主体において“読み替え”ができるようなコメントの追記等の必要性</p> <p>3) CO₂換算に向けた検討</p> <p>(1) CO₂排出原単位の整理 だれでも入手可能な原単位の情報収集</p> <p>(2) 包装材の投入量の標準的算定方法の検討</p>	<p>1. 包装に関わる環境パフォーマンスの算定についての検討</p> <p>1) 包装材のフロー基本モジュールの策定 「包装材のフロー 基本モジュール」、「基本モジュールの組み合わせ例」を策定</p> <p>2) 包装材の投入量の標準的算定方法の検討 ワンウェイ、リターナブル各々について、総量、原単位等として捉えるべき指標を整理</p> <p>3) 包装材の排出量の標準的算定方法の検討 EPR（拡大生産者責任）の観点より、資源の視点から指標を整理</p> <p>4) 適正化の取り組み 2) 3) の指標とその改善につながるための適正化の取り組みを整理</p> <p>5) その他 レンゴー株式会社 新京都事業所 見学会</p> <p><アウトプット> 『グリーン物流推進のための輸送包装適正化の手引き-環境パフォーマンス算定の考え方-』 *輸送包装に係る環境パフォーマンス算定並びに適正化の取り組みを推進していただく。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>・本手引きのブラッシュアップと普及 ・CO₂排出原単位の整備 ・サプライチェーン全体での適正化取り組みの促進</p>

研究会/委員会	活動方針	2008 年度活動内容	2009 年度活動内容/今後さらに検討を要する課題等
グリーン物流 推進のための 取引条件検討 委員会 (登録人数： 48名)	環境負荷と経済効率を考慮した物流に係る取引条件のあり方について、発荷主、着荷主、物流事業者間で課題を共有し、解決の方向性、方策を検討する。 さらに必要に応じて企業、行政、団体等の関係者への提言を行う。	1. 活動内容の検討 1) 「活動内容アンケート」を実施 2) 物流に係る取引条件を検討するねらい(含む過去の検討成果)の確認 3) 上記アンケート結果を基に活動内容を検討 ⇒「時間指定」をテーマに検討を行う。 2. 「時間指定」が環境負荷に与える影響等についての検討 1) 「時間指定に関するアンケート調査の実施」 ①着荷主、②発荷主、③物流事業者それぞれの立場における「時間指定」の捉え方等について確認 2) 主な検討対象の審議 当委員会での主な検討対象を決定するために、業種等により「時間指定の分類・整理表」を策定するとともに、同表を参考として、検討対象を審議 3) 時間指定の見直しによるCO ₂ 改善効果の算出等に向けた調査項目の検討 ⇒CO ₂ 改善効果の算出については、一部委員にデータ等の御協力いただく形での調査実施を決定 ⇒上記とは別に、委員各社において時間指定の見直しを実施できた要因等に関する調査実施を決定	1. 「時間指定」が環境負荷に与える影響等についての検討 1) 時間指定の見直しによるCO ₂ 改善効果の算出等について 「グリーン物流パートナーシップ ソフト支援事業 中継物流の共同化」の報告 2) 時間指定の見直しによるCO ₂ 削減に係るアンケート調査(1次調査、追加調査) ①事例内容、②取組による時間指定等の差異、③CO ₂ 等の効果、④実施にあたり調整した項目、⑤取組がすすんだ要因、⑥実施後に生じた課題等について収集 ⇒事例編として取りまとめ 3) 取り組みの手引きの取りまとめ 事例編の内容から、物流部門から営業部門、さらには着荷主に対する対話・調整等を進めるために必要となる項目をフローとして取りまとめた。 <アウトプット例> 『時間指定の見直しによるグリーン物流推進の手引き』(仮称) *本書を参照し、各社において時間指定設定の合理性を考えるきっかけとしていただく。 <hr/> 【今後の課題】 ・「待ち時間」の共通指標化に向けた検討 ・本手引きの普及

第3期ロジスティクス環境会議 調査関係の活動について（案）

1. グリーンロジスティクスチェックリスト調査

1) 目的

第2期CGLで策定した「グリーンロジスティクスチェックリスト」の普及等を通じて、ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進する。

具体的には、本チェックリストに網羅されている「物流・ロジスティクスにおける環境負荷低減活動項目」の取組状況を集計・分析するとともに、回答企業に対して、集計結果（全体平均、業種平均と貴社回答）等を整理した簡易診断結果を返却することにより、自社の現状の取組度合いを確認いただき、今後の取り組みを進める際の参考資料としていただくことを目的としている。

2) 検討組織

グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG

3) 本年の活動経過

(1) 調査実施に向けた検討

- ・参考情報欄の追記、修正（86項目中45項目）
 - 08年度調査で回答者から質問があった項目に対する説明の追記
 - 行政機関等が新たに作成したマニュアル等の追加
（グリーン物流パートナーシップ 推進事業 事例集、
物流省エネ事例集（北海道経済産業局）等）
- ・フェイスシートの従業員数、売上高区分の見直し

(2) 調査実施（2009年9月～11月）

(3) 結果集計（2009年11月～12月） **参考資料5参照**

(4) 結果報告（2010年1月）

- ・回答者への簡易診断結果送付（2010年1月8日）

4) 今後の予定

(1) 「グリーンロジスティクス講演会」の開催（2010年3月1日）

グリーンロジスティクスチェックリスト調査結果報告に加え、包装、輸送、施設に関する優れた事例紹介を実施

(2) J I L S機関誌での結果紹介（2010年春）

(3) トライアル診断（仮称）

09年度の回答企業との比較結果の返却

以 上

情報提供に関する活動内容、及び活動計画（案）

1. シンポジウム、講演会等のイベントについて

1) 概要

環境会議全メンバーを対象に、委員会の活動成果等に関する情報発信、もしくは研究会、委員会ではとりあげていないテーマに関する情報提供等を目的に実施。

2) 2009年度の活動内容

(1) 公開制研究会「循環型社会構築を考える」の開催 **（別紙1参照）**

日 時：2009年8月7日（金） 13：30～16：40

会 場：アイビーホール青学会館／東京・渋谷区

参加人数：66名

*第11回グリーン物流研究会をメンバー外にも公開する形で実施

3) 今後の活動計画（案）

(1) グリーンロジスティクス講演会の開催

日 時：2010年3月1日（月） 13：30～17：00

概 要：グリーンロジスティクスチェックリスト調査結果の報告に加え、包装、輸送、施設に係る事例紹介を実施

2. 媒体を通じた情報提供について

1) 『CGLニュース』と『CGLジャーナル』による発信

本会議をはじめ、研究会、委員会の活動経過、各種催事、行政動向等について、以下の媒体を用いて、情報発信を実施。

2) 2009年度の活動内容

(1) 『CGLニュース』（電子メール）

行政からの報道発表等を中心とした速報的内容について21号配信

（第3期活動期間で計43号配信） **（詳細は別紙2参照）**

3) 今後の活動計画（案）

(1) 『CGLニュース』（電子メール）

引き続き、月2回程度の配信実施

(2) 『CGLジャーナル』（冊子）

Vol.3 2010年3月末（予定）

・第3回本会議 結果報告

以 上

講演会等のイベントの結果報告

1. 公開制研究会「循環型社会構築を考える」

1) 結果概要

- 日 時：2009年8月7日（金） 13:30～16:40
- 会 場：アイビーホール 青学会館／東京・渋谷区
- 参加料金：環境会議メンバー企業 : 無 料
メンバー以外
 - JILS会員企業 : 10,500円（1名：消費税込み）
 - JILS非会員企業 : 21,000円（1名：消費税込み）
- 参加人数：66名
- 主 催：(社)日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境会議

2) プログラム

時刻	内容
13:30～13:35	開 会 ロジスティクス環境会議 グリーン物流研究会 幹事 (株式会社日本総合研究所 総合研究部門 上席主任研究員) 下村 博史 氏
13:35～14:30	基調講演 「資源循環型社会構築に向けた展望」 ●現在の廃棄物処理・リサイクルの状況の概観 ●新しい資源循環レジームの構築 ●静脈物流ビジネスの意味 慶應義塾大学 経済学部 教授 細田 衛士 氏
14:30～14:40	休憩
14:40～15:35	事例 1 「循環型リサイクルシステムの紹介 —エコサークル®の具体例—」 ●帝人(株)の環境に対する考え方 ●エコサークル®の仕組み ●エコサークル®の具体例 帝人ファイバー株式会社 マーケティング部 部長 大河原 茂 氏
15:35～15:45	休憩
15:45～16:40	事例 2 「総合物流事業による地域社会への貢献 —循環型社会の構築を目指して—」 ●会社概要、環境取り組み概要 ●リサイクル事業への取り組み ●今後の展開 横手運送株式会社 代表取締役 塩田 謙三 氏
16:40	閉 会

* 役職は開催時点のもの

以 上

CGLニュースの配信結果

Vol.1 2008年5月20日

- ・2006年度温室効果ガス排出量 確報値を公表（環境省）
- ・国土交通白書 2008 を公表（国土交通省）

Vol.2 2008年5月28日

- ・2007年の年平均大気中二酸化炭素濃度が過去最高に（気象庁）
- ・「脱温暖化 2050 プロジェクト」 ～低炭素社会に向けた 12 の方策～を発表（環境省）

Vol.3 2008年6月4日

- ・平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定（グリーン物流 P 会議）
- ・エネルギー白書 2008 を公表（経済産業省 資源エネルギー庁）

Vol.4 2008年6月11日

- ・平成 19 年度家電リサイクル実績を公表（経済産業省、環境省）
- ・第 2 期成果発表会開催報告

Vol.5 2008年6月30日

- ・弾力的な鉄道貨物輸送システムのあり方に関する調査報告書について（国土交通省）
- ・東京都環境確保条例の改正（東京都）
- ・平成 20 年版環境・循環型社会白書を公表（環境省）

Vol.6 2008年7月4日

- ・グリーン物流パートナーシップ ソフト支援事業 2次募集のお知らせ（グリーン物流 P 会議）
- ・環境行動計画 2008 を発表（国土交通省）
- ・「平成 20 年度 容器包装 3 R 推進環境大臣賞」の募集について（環境省）

Vol.7 2008年8月4日

- ・グリーン物流パートナーシップ ソフト支援事業 2次募集のお知らせ(グリーン物流 P 会議)
- ・グリーン物流パートナーシップ 普及事業 追加募集のお知らせ(グリーン物流 P 会議)
- ・「低炭素社会づくり行動計画」が閣議決定
- ・第 15 回エコレールマークの認定について（国土交通省）
- ・クリーンディーゼル普及推進方策の公表について(経済産業省、国土交通省、環境省)

Vol.8 2008年8月15日

- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査について
- ・平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集開始（国土交通省）
- ・平成 20 年度エコシップ・モーダルシフト事業優良事業者の募集について（国土交通省）
- ・バイオ燃料地域利用モデル実証事業の事業実施地区決定について（農林水産省）

Vol.9 2008年8月21日

- ・平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集について（経済産業省）
- ・平成 21 年版 環境・循環型社会白書表紙絵コンテストの実施について（環境省）

Vol.10 2008年9月1日

- ・平成 19 年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書について（環境省）
- ・「食品ロスの削減に向けた検討会」について（農林水産省）

Vol.11 2008年9月24日

- ・グリーン物流パートナーシップ推進事業決定（2次募集分）（グリーン物流 P 会議）
- ・地球温暖化学習教材「地球温暖化 今、わたしたちにできること」について（環境省）
- ・「食品ロスの削減に向けた検討会」について（農林水産省）

- ・物流と環境をテーマとしたイベント「第16回渋谷コロキウム」のご案内（武蔵工業大学）

Vol.12 2008年10月1日

- ・3R推進月間がスタート（環境省）
- ・「海の10モードプロジェクト」実船計測の実施について（国土交通省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - 省エネ法実態調査 集計結果（速報版）の公表
 - グリーン物流研究会 活動報告
 - 包装の適性化推進委員会 活動報告
 - グリーンロジスティクスチェックリスト調査

Vol.13 2008年10月17日

- ・グリーン物流パートナーシップ 推進事業（普及事業）2次募集を開始（グリーン物流P会議）
- ・営業倉庫、トラックターミナル等の省エネ設備導入支援の2次募集のお知らせ（国土交通省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - グリーン物流推進のための取引条件検討委員会 活動報告

Vol.14 2008年11月10日

- ・グリーン物流パートナーシップ 推進事業（普及事業）2次募集（グリーン物流P会議）
- ・環境配慮型3PL手引きの作成について（国土交通省）
- ・バイオ燃料の持続可能性に関する基準・指標のあり方について（農林水産省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - グリーン物流研究会 活動報告

Vol.15 2008年11月21日

- ・第7回グリーン物流パートナーシップ会議のご案内（グリーン物流P会議）
- ・2007年度温室効果ガス排出量（速報値）の公表について（環境省）
- ・「環境を『力』にするビジネスベストプラクティス集」の発表（経済産業省）
- ・カーボンフットプリント・統一マークの決定について（経済産業省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - 包装の適性化推進委員会 活動報告
 - グリーン物流推進のための取引条件検討委員会 活動報告

Vol.16 2008年11月28日

- ・第7回グリーン物流パートナーシップ会議 参加受付開始（グリーン物流P会議）
- ・第16回「エコレールマーク」の認定について（国土交通省）
- ・大気中の主要温室効果ガス濃度は過去最高値（気象庁）
- ・第5回エコプロダクツ大賞の結果について（エコプロダクツ大賞推進協議会）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - CGLジャーナルⅢ 第1号発刊
 - 第2回企画運営委員会開催報告

Vol.17 2008年12月15日

- ・第7回グリーン物流パートナーシップ会議 参加受付中（グリーン物流P会議）
- ・平成20年度グリーン物流パートナーシップ 推進事業を追加決定（グリーン物流P会議）
- ・産業廃棄物処理業者の優良性評価制度について（財団法人産業廃棄物処理事業振興財団）

Vol.18 2008年12月22日

- ・第7回グリーン物流パートナーシップ会議 開催報告（グリーン物流P会議）

- ・平成 20 年度エコシップマークの認定について（国土交通省）
- ・平成 18 年度の産業廃棄物の排出及び処理状況等について（環境省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - 第 6, 7 回グリーン物流研究会開催報告

Vol.19 2009 年 1 月 6 日

- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査 結果報告会のご案内
- ・「環境にやさしい企業行動調査」の結果について（環境省）

Vol.20 2009 年 1 月 27 日

- ・「鉄道へのモーダルシフト」促進のための要望書を提出
- ・「省エネ法対応 荷主の省エネ推進の手引き」について（財団法人省エネルギーセンター）
- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査 結果報告会のご案内

Vol.21 2009 年 2 月 25 日

- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査 結果報告会 開催報告
- ・第 17 回「エコレールマーク」の認定について（国土交通省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - 第 8 回グリーン物流研究会
 - 第 4 回包装の適性化推進委員会
 - 第 4 回グリーン物流推進のための取引条件検討委員会

Vol.22 2009 年 3 月 2 日

- ・グリーン物流パートナーシップ推進事業（普及事業）の募集予告について（グリーン物流 P 会議）
- ・営業倉庫等の省エネ設備・技術導入計画認定申請について（国土交通省）
- ・ロジスティクス環境会議関連
 - 第 3 回企画運営委員会

Vol.23 2009 年 3 月 16 日

- ・第 3 期ロジスティクス環境会議 第 2 回本会議開催報告
- ・「3R まなびあいぶっく」の発行について（環境省）

Vol.24 2009 年 3 月 19 日

- ・平成 21 年度「グリーン物流パートナーシップ推進事業（普及事業）」
3 月 31 日より申請受付開始（グリーン物流 P 会議）
- ・平成 20 年度「食品リサイクル推進環境大臣賞」の決定（環境省）
- ・「食品残さのリサイクルから地域循環圏を考えるシンポジウム」
（環境省 中部地方環境事務所）

Vol.25 2009 年 3 月 25 日

- ・平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定（グリーン物流 P 会議）
- ・エネルギー白書 2008 を公表（経済産業省 資源エネルギー庁）
- ・CGL ジャーナルⅢ 第 2 号発刊
- ・「サプライチェーン省資源化モデル大賞」の決定、及びサプライチェーン省資源化連携促進事業事例集の公表について（経済産業省）
- ・省エネ化と「省エネ産業」の展開に関する研究会の報告書の公表について（経済産業省）

Vol.26 2009 年 4 月 1 日

- ・低公害車等の導入等に係る補助制度のご案内（国土交通省）

- ・ 3 R活動先進事例集の公表（3 R活動推進フォーラム）

Vol.27 2009年4月9日

- ・ 「新たな温室効果ガス削減環境事業モデル」の新規募集について（国土交通省）
- ・ 公開制研究会／JILS 会員参加無料！ グリーンロジスティクスのすすめ（J I L S）

Vol.28 2009年4月15日

- ・ 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成19（2007）年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について（環境省、経済産業省）
- ・ 「改正省エネ法（工場・事業場）に関する企業向け説明会」について（経済産業省）
- ・ 「バイオ燃料持続可能性研究会」報告書について（経済産業省）

Vol.29 2009年4月28日

- ・ 平成 21 年度自動車環境配慮推進事業の募集について（環境省）
- ・ 「オゾン層観測報告：2008」を公表（気象庁）

Vol.30 2009年5月1日

- ・ バイオ燃料地域利用モデル実証事業の事業実施地区決定について（農林水産省）
- ・ 2007 年度（平成 19 年度）の温室効果ガス排出量（確定値）について（環境省）
- ・ 平成 2 1 年度 物流連携効率化推進事業（新規）の公募受付中（国土交通省）

Vol.31 2009年5月25日

- ・ 平成 21 年度エコドライブコンテストについて
- ・ 第 1 8 回「エコルールマーク」の認定について（国土交通省）
- ・ 使用済携帯電話回収促進キャンペーンについて（総務省、経済産業省、環境省）

Vol.32 2009年6月22日

- ・ 平成 21 年度グリーン物流パートナーシップ普及事業 推進決定について（グリーン物流 P 会議）
- ・ グリーン物流パートナーシップ推進事業 事例集の公表（グリーン物流 P 会議）
- ・ 平成 21 年度「物流連携効率化推進事業」の認定について（国土交通省）
- ・ 「“はこんでもうける” 物流省エネ事例集 in 北海道」について（北海道経済産業局）

Vol.33 2009年7月9日

- ・ 営業倉庫、トラックターミナル等における省エネ設備・技術導入計画の二次募集について（国土交通省）
- ・ 「公開制研究会 循環型社会構築を考える」のご案内（C G L）

Vol.34 2009年7月24日

- ・ 総合物流施策大綱（2009－2013）及び総合物流施策推進プログラムについて（経済産業省、国土交通省）
- ・ 平成 21 年度省エネ大賞の公募開始 今年度から募集対象が拡大（経済産業省）
- ・ 「産廃情報ネット」新サービスがスタート（財団法人産業廃棄物処理事業振興財団）

Vol.35 2009年8月3日

- ・ 平成 21 年度「グリーン物流パートナーシップ推進事業（普及事業）」
2 次募集の申請受付開始（グリーン物流 P 会議）
- ・ 平成 2 1 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰について（環境省）
- ・ 平成 2 1 年度省エネルギー普及のための人材研修 参加者募集中！（資源エネルギー庁）
- ・ 「環境問題に関する世論調査」結果を発表（内閣府）

Vol.36 2009年8月27日

- ・ グリーン物流パートナーシップ 優良事業の募集について（国土交通省）

- ・グリーン物流パートナーシップ 優良事業の募集について（経済産業省）
- ・カーボンフットプリント制度試行事業用 CO2 換算量共通原単位データベース（暫定版）の公開について（CFP 制度試行事業事務局（社団法人産業環境管理協会））
- ・ペットボトルリユース実証実験の取りまとめについて（環境省）

Vol.37 2009年9月29日

- ・グリーンロジスティクスチェックリスト 2009 年度調査へのご協力をお願い
- ・一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成 19 年度速報）について（環境省）
- ・プラスチック製容器包装の再商品化に伴う環境負荷の削減効果について（環境省）

Vol.38 2009年10月30日

- ・平成 21 年度グリーン物流パートナーシップ普及事業（2 次募集）の決定について（グリーン物流 P 会議）
- ・平成 2 1 年度 3 R 推進功労者等表彰について（3 R 推進協議会）
- ・グリーンロジスティクスチェックリスト 2009 年度調査へのご協力をお願い
- ・省エネ法実態調査結果の公表について

Vol.39 2009年11月12日

- ・2008年度温室効果ガス排出量（速報値）の公表について（環境省）
- ・第 4 回日中省エネルギー・環境総合フォーラムにおける日中間の協力合意事項（経済産業省）
- ・ジメチルエーテル（DME）燃料を用いたトラックの実証運行試験の実施について（国土交通省）
- ・グリーンロジスティクスチェックリスト 2009年度調査へのご協力をお願い

Vol.40 2009年11月16日

- ・第 8 回グリーン物流パートナーシップのご案内（グリーン物流 P 会議）

Vol.41 2009年12月18日

- ・第 8 回グリーン物流パートナーシップ会議 開催報告（グリーン物流 P 会議）
- ・温室効果ガス「排出抑制等指針」Web サイトについて（環境省）

Vol.42 2010年1月12日

- ・地球温暖化・エネルギー関係での経済産業省と国土交通省の連携強化に向けた中間とりまとめについて（経済産業省、国土交通省）
- ・「たんすケータイ あつめタイ\(^o^)/」における使用済み携帯電話の回収状況等の中間発表について（経済産業省）

Vol.43 2010年2月8日

- ・【3月1日開催】CGLメンバー企業は無料 グリーンロジスティクス講演会のご案内
- ・環境教育冊子「グリーン物流ってなんだろう？」発刊のお知らせ
- ・「交通基本法」の制定に向けた意見の募集について（国土交通省）

以 上

第3期活動の総括について（案）

1. 概要（第1回本会議承認事項）

1) 目的

持続可能社会を実現するロジスティクスの構築
～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

2) 方針

持続可能社会を実現するロジスティクスの構築に向けて、産官学、発荷主・着荷主・物流事業者間の連携のもと、第1、2期の活動成果を活用しつつ、ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進する。

3) 目標

ロジスティクス分野における環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、委員会ならびに研究会等の活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す。

2. 第3期活動の実績

1) 低炭素社会及び循環型社会の実現に向けた活動の推進（環境宣言第1項実現に向けた取組）

（主な実績）

- ・グリーン物流推進のための輸送包装適正化の手引き ―環境パフォーマンス算定の考え方―
- ・時間指定の見直しによるグリーン物流推進の手引き（仮称）
- ・グリーン物流研究会による改善施策の研究

2) 「取り組む企業を増やす」ための活動の展開（環境宣言第2項実現に向けた取組）

自社の取組度合いの見える化をはかり、今後の取り組みの一助としていただくためのデータ等の提供

（主な実績）

- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査及び簡易診断結果返却
- ・省エネ法実態調査

3) 「情報発信」の実践（環境宣言第3項実現に向けた取組）

行政及び関係企業に対する意見・要望を策定とその後の行政の動向

（主な実績）

- ・モーダルシフト推進に対する意見・要望の提出（2009年1月）
 - 国土交通省鉄道局主催「貨物鉄道のインフラ整備に係るグランドデザインに関する検討会」、「有識者との意見交換会」（2009年7月～）
 - モーダルシフト等推進官民検討会の設置に向けた動き
(2009年12月25日 地球温暖化・エネルギー関係での経済産業省と国土交通省の連携強化に向けた中間とりまとめ（以下「経済産業省、国土交通省 中間とりまとめ」と言う）
- ・省エネ法に対する意見・要望（第2期（2008年3月）提出済）
 - 経済産業省、国土交通省両省の関係部局による連絡会議の設置、データに係る分析等
(2009年12月25日 経済産業省、国土交通省 中間とりまとめ)

4) 連携を意識した検討・活動の推進

第1、2期に引き続き、研究会、委員会ともに発荷主企業、着荷主企業、物流事業者間の連携を意識した検討、並びに活動を進めた。

組織	特徴
グリーン物流推進のための取引条件検討委員会	・発荷主、着荷主、物流事業者メンバーによる検討、及び発荷主物流部門が自社営業部門、さらには得意先（着荷主）との対話・調整のための手引き等を作成
包装の適正化推進委員会	・広い意味では包装材のユーザーであるが、立場が異なるメーカー、物流子会社と物流事業者双方による検討 ・包装材メーカーとの情報交流、現場見学会の開催
グリーン物流研究会	・公開制研究会の実施 ・講師とメンバーとの人的交流の促進
グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG	・簡易診断結果返却時に他業種結果等の情報提供 ・グリーンロジスティクス講演会の開催 ・他委員会、研究会メンバーも含めた交流会の実施

5) 消費者を意識した活動

物流・ロジスティクスに携わる企業メンバー等が、将来の物流・ロジスティクスを担う児童を対象に、①物流・ロジスティクスへの理解、②環境に優しい行動の実践を促すことをねらいとした環境教育冊子「グリーン物流ってなんだろう？」を作成した。

3. 第3期活動を終えての課題

1) 普及活動のさらなる推進

第3期においても、多くの成果物を作成してきたが、それらの普及は多くの場合環境会議メンバー内にとどまり、広く産業界に発信し活用を促進するための十分な活動までは展開できなかった。

そこで、第1、2期成果物とともに、第3期の成果物についても普及活動を展開し、環境負荷低減活動に取り組む企業を増やす活動をより一層進める必要がある。

2) 各委員会の課題

各委員会ともに、いくつかの課題がある（詳細は資料3-1参照）。今後、J I L Sが設置する検討組織におけるテーマの設定の際に、それらを考慮する必要がある。

4. 総括

ロジスティクス分野における環境対応を積極的に進め、産業界に広く貢献したいと考える87社のメンバー企業等の連携による検討、情報交流、さらには人的ネットワークの構築を図りながら、持続可能社会を実現するロジスティクスの構築に向けて、「ロジスティクス環境宣言」の実践に必要なツールの整備等を展開した。

今後、3期7年にわたるロジスティクス環境会議の成果を、J I L S会員を始めとする産業界に向けて広く継続的に情報発信し、環境負荷低減活動をより一層推進したい。

以上

第3期ロジスティクス環境会議

第3回本会議 次第（案）

2010年3月10日(水)15:00～17:00

ホテルニューオータニ 地下1F 麗の間

次 第

1. 開 会

2. 経過報告

3. 議 事

- 1) 研究会、委員会等の活動報告について
 - (1) グリーン物流研究会
 - (2) 包装の適正化推進委員会
 - (3) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会
 - (4) グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG
 - (5) 省エネ法実態調査について
- 2) 環境教育冊子について
- 3) 情報提供活動について
- 4) 第3期活動の総括について
- 5) 2009年度収支決算（案）について
- 6) 2010年度の活動について

4. 閉 会

以 上

第3期ロジスティクス環境会議 第3回本会議 タイムスケジュール (案)

時刻	項目	担当	時間
15:00~	1. 開会		
	議長挨拶	三村議長	5分
15:05~	2. 経過報告		
		事務局	5分
15:10~	3. 議事 (議事進行: 三村議長)		
	1) 活動報告		
15:10~	(1) グリーン物流研究会	下村幹事	12分
15:22~	(2) 包装の適正化推進委員会	増井委員長	12分
15:34~	(3) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会	山本委員長	12分
15:46~	(4) グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG	矢野幹事	12分
15:58~	(5) 省エネ法実態調査について	事務局	3分
	(6) (1) ~ (5) の質疑応答	事務局	5分
16:06~	2) 環境教育冊子について		
	環境教育冊子について	企画委員	5分
	質疑応答	事務局	2分
16:13~	3) 情報提供活動について		
	情報提供活動について	事務局	5分
	質疑応答	事務局	2分
16:20~	4) 第3期活動の総括について		
	第3期活動の総括について	増井企画運営副委員長	10分
	質疑応答	事務局	3分
16:33~	5) 2009年度収支決算 (案) について		
	2009年度収支決算 (案) について	事務局	5分
	質疑応答	事務局	2分
16:40~	6) 2010年度の活動について		
	2010年度の活動について	事務局	10分
	質疑応答	事務局	2分
16:52~	4. 閉会		
		事務局	3分

2010 年度以降の活動について（案）

1. はじめに

ロジスティクス環境会議は、2003 年 11 月設立以降、3 期 7 年にわたり、各委員会、研究会の活動を通じて、課題解決のためのツールの開発と普及、人的ネットワークの構築、省エネ法や鉄道へのモーダルシフト推進のための要望書提出など行政に対する提言活動、「ロジスティクス環境宣言」の採択など、ロジスティクス分野における環境負荷低減に向けた活動を進め、大きな実績をあげてきた。

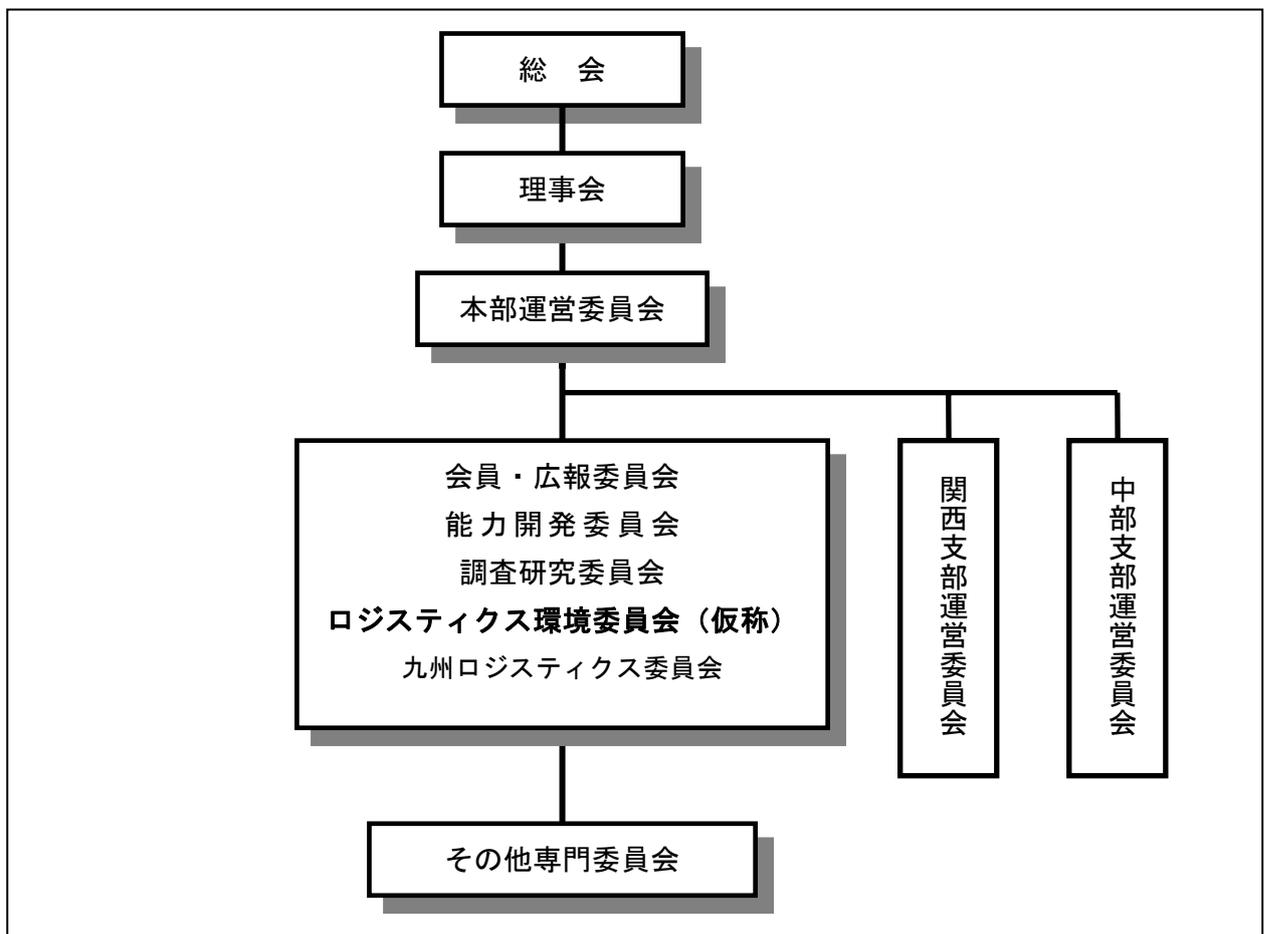
この環境会議は、企画運営委員をはじめとした、各委員会、研究会の委員長、副委員長/幹事、副幹事、そして登録メンバーの方々の熱心な活動により遂行してきた。2010 年度以降は委員会、研究会などの具体的な活動の枠組みを維持しつつ、J I L S の経常活動の一環として環境負荷低減に向けた活動に取り組むこととし、環境会議を発展的に解消する。

2. 組織体制

1) ロジスティクス環境委員会（仮称）（常設委員会）

ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を経常的に企画運営するために、J I L S の常設委員会としてロジスティクス環境委員会（仮称）を新規に設置する。

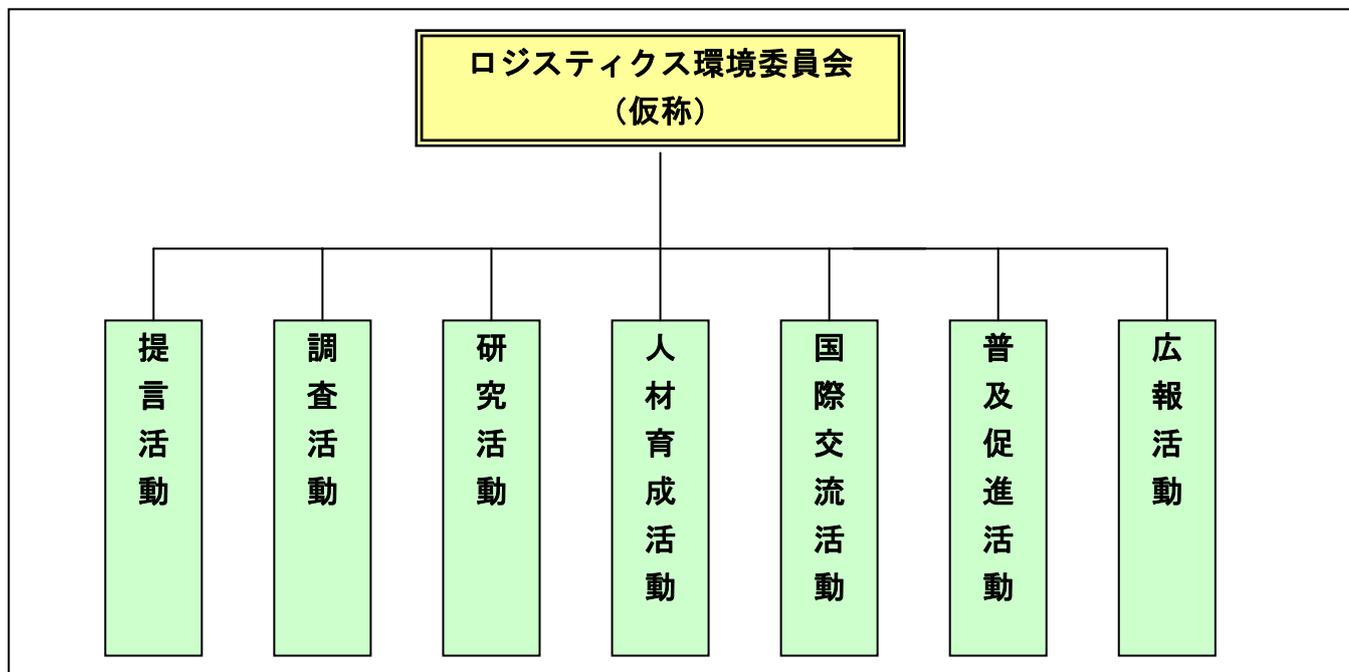
図表 1 社団法人日本ロジスティクスシステム協会 組織図（案）



2) ロジスティクス環境委員会（仮称）の役割

- ①ロジスティクス環境活動に係る諸施策への提言の検討
- ②ロジスティクス環境活動の企画・運営に関する事項の検討

図表2 2010年度以降の環境関連活動のイメージ



3. 環境関連活動

1) 提言活動

- ・ロジスティクスにおける環境に関する諸施策への提言を行う

2) 調査活動

- ・調査研究委員会と連携して、環境に関する行政からの受託調査に係る事項や自主調査の研究テーマの検討を行う。

3) 研究活動

- ・環境負荷低減に関する、課題解決方策の共同研究や事例交換・情報交流、人的ネットワークの構築を図る。

- (1) グリーンロジスティクス共同研究
- (2) グリーンロジスティクス事例研究会

4) 人材育成活動

- ・能力開発委員会と連携して、ロジスティクスにおける環境の課題に取り組む人材育成に関するプログラムを開発提供する。
 - ・ グリーンロジスティクス管理士資格認定講座
 - ・ グリーン物流基礎コース など

5) 国際交流活動

- ・海外関係機関との情報交流や調査団派遣に係る検討を行う。

6) 普及促進活動

- ・産業界への普及促進を目的に、展示会やシンポジウムを行う。

7) 広報活動

- ・産業界に向けた広報
- ・一般消費者に向けた広報

以 上

第3期ロジスティクス環境会議 2009年度スケジュール(案)

	本会議	企画運営 委員会	グリーン物流 研究会	委員会		WG	省エネ法 実態調査	イベント
				包装の 適正化	取引条件	チェックリスト 調査		
開催数	1回	2回	8回	8回	7～8回	2回		2回
4月					<調査>			
5月			26 第9回	26 第5回	19 第5回			
6月			24 第10回	19 第6回	25 第6回			
7月				17 第7回				
8月			7 第11回		4 第7回	18 第3回WG	<調査>	7 公開制
9月			16 第12回	10 見学会 16 第8回	30 第8回	<調査>	<集計>	
10月			21 第13回	23 第9回		↑	<報告>	
11月		13 第4回	24 第14回	27 第10回	19 第9回	↓		
12月			8 第15回	25 第11回	21 第10回	<集計> <結果返却>		
1月			20 第16回	29 有志WG	27 第11回			
2月		22 第5回		19 第12回	16 第12回	1 第4回WG		
3月	10 第3回							1 報告会

<冊子>

環境教育冊子 : 2010年2月9日発行

CGLジャーナル第3号 : 2010年3月末発行予定

以上